

平成 30 年 12 月 27 日

市政記者各位

福岡市美術館

福岡市美術館オリジナルの「高取焼」「博多人形」など続々制作中！

2019 年 3 月 21 日（木・祝）にリニューアルオープンする福岡市美術館。新たにオープンするミュージアムショップでは、黒田藩の御用窯「高取焼」や、博多を代表する伝統工芸品「博多人形」など、地元作家・クリエイターによる福岡市美術館オリジナルグッズの制作に取り組んでいます。制作過程などの取材をいただける際は、それぞれの制作作家と日程等を調整させていただきますので、下記までお問い合わせください。

今後も、随時、オリジナルグッズ等の制作状況をお知らせします。

〈制作中のオリジナルグッズの例〉

高取焼宗家十三代

たかとりはちざん
高取八山氏による、

所蔵品（茶器の名品）の写し（※）

江戸時代から黒田藩の御用窯として全国に知られていた「高取焼」。伝統のわざで、その美しさを現代によみがえらせます。



制作作品を選定する高取八山氏（写真中央）

※「写し」とは、本物と同じような形状になるよう、現代の陶芸家が制作するもの。

猫が描かれた所蔵品をモチーフにした

博多人形師 おそえがわたろう 小副川太郎氏による

福岡市美術館オリジナルデザイン

「福かぶり猫」

平成 29 年度インバウンド向け伝統工芸品開発事業（担当：地域産業支援課）にて開発され、現在「はかた伝統工芸館」などで販売中の人気商品である「福かぶり猫」が、福岡市美術館の所蔵品にちなんだオリジナルデザインで登場。



（参考）既存デザインの「福かぶり猫」

ミュージアムショップ

（運営：（株）オークコーポレーション）

新たなアプローチから入り、正面にオープンするミュージアムショップでは、当館所蔵品をモチーフにしたオリジナルグッズや展覧会図録のほか、福岡在住の陶芸家・かごしままこと 鹿児島 睦氏や水引デザイナー・ながうら 長浦ちえ氏の商品、伝統工芸品（博多織）などを販売します。

福岡を訪れた記念や贈り物にもおすすめの商品を取り揃えます。



ショップイメージ

人形師 なかむらしんきょう 中村信喬・ひろみね 弘峰氏による

陶の素焼き生地による絵付人形

「MASTER ROAD SERIES-彩色の道」（仮）

中村人形が手がける、絵付体験用のオリジナル博多人形（※）として制作。「彩色の道」を目指すべく、動物から人物まで、絵付の難易度に応じてラインナップを展開します。



「足で頭を掻くうさぎ」の原型

※販売するのは素焼きの人形であり、購入された方が絵の具や色鉛筆などで自由に色付けを行うことにより、創作の楽しさを体感していただくもの。

【問い合わせ先】

経済観光文化局美術館運営部

[博多人形, その他ショップ全般について]

…リニューアル事業課（担当：古賀）電話：092-714-6052

[高取焼について]

…学芸課（担当：岩永）電話：092-714-6053